

■地域貢献(密着)活動



① 移送サービス



② 応急手当普及員研修



③ 加古川ツデーマーチ



④ ふれあいゲートボール大会



⑤ KAKOGAWA 踊ってまつり

「当金庫の多重債務問題への取組みについて」が 近畿財務局長より顕彰されました。

平成21年12月14日(月)に、近畿財務局主催の「地域密着型金融に関するシンポジウム」が神戸国際会館で開催され、当金庫の「地域密着型金融に関する取組み」の一つである「多重債務問題への取組みについて」が評価され、昨年の「住民の自主的なまちづくりに向けた取組みへの支援」に続き、近畿財務局長より、二年連続で顕彰されました。



がん検診 受診率向上

— 大切な人を守るために —

兵庫県とのがん検診受診率向上推進協定締結

兵庫県信用金庫協会は、平成22年2月4日兵庫県におけるがん検診の受診率向上に向けて、県が策定した「兵庫県がん検診受診啓発」に基づき、企業連携に係る協定締結をしました。

当金庫は、協会の協定締結により、下記の取組みを行います。

1. 本事業の背景及び目的

兵庫県では平成20年2月より、がん対策を総合的かつ計画的に推進するため、がん対策基本法に基づき「兵庫県がん対策推進計画」を策定しています。

兵庫県と企業等との連携により、がん検診の啓発、受診勧奨等の、草の根的な活動を行うことにより、県内の職域を含めたがん検診の受診率向上を図ろうとする取組みです。

当金庫は、兵庫県からがん検診の重要性についての普及啓発、受診勧奨を受託して、がん検診受診率向上を目指し、啓発活動に協力してまいります。

2. 取組み概要(活動内容)

- ① 役職員に対するがん検診の受診勧奨
- ② 顧客窓口におけるパンフレットの配布やポスターの掲示、がん検診の受診勧奨
- ③ 系列企業や取引企業等に対するがん検診の受診勧奨
- ④ がん検診の受診啓発イベントの実施
- ⑤ その他、がん検診の受診啓発に関わる積極的な取組み

3. 実施店舗

但陽信用金庫 31店舗

～ 家族に検診に行ってもらおう～

日本赤十字社「献血サポーター」に登録

当金庫は、平成7年1月から、医療を支える血液不足の解消に少しでも役立ちたいとの思いから、職員だけでなく広くお客様にもご協力いただき「献血活動」を続けていますが、さらに広く献血活動の普及・啓発に関わるべく、平成21年12月、日本赤十字社が推進している「献血サポーター」に登録しました。

〔献血サポーター-ロゴマーク〕



献血サポーター
www.ken-sapo.jp

「献血サポーター」とは、厚生労働省が企画・制作した「献血サポーター」ロゴマークの配付許可を日本赤十字社が受け、各都道府県、市町村行政機関とともに「献血サポーター」活動への参加を企業・団体から募り、ロゴマークを配付することで献血活動のさらなる普及・啓発を行う活動です。



銀の馬車道交流館(まっせまつり)

旧栗賀支店の余剰スペースを活用(神河町商工会に使用貸借)した交流館は、神河町の歴史や文化などに関する展示等を行い、地域交流の場やさまざまな町づくりの拠点施設・観光案内施設として利用されています。



また、毎年10月に、交流館を中心に「まっせまつり」が開催されます。このまつりは、「かみかわまるごとうりまっせ!」「広げよう 銀の馬車道 まちづくりの輪」をキャッチフレーズに、神河町中村から栗賀町までの旧街道沿いの、空店舗・空地及び民家の軒下を利用して、住民・商工業者が特産品の販売及びバザーイベントを開催するものです。マーチング演奏や地元太鼓保存会による勇壮な太鼓披露などが楽しめ、栗賀支店職員もバザー店「おたのしみクジ」などで協力しています。

◎その他継続的に取り組んでいる地域貢献(密着)活動

- ① NPO法人但陽ボランティアセンターの取組み
(移送サービス、ベルボックス、ケア訪問等)
- ② 応急手当普及員研修、AEDの設置
- ③ 加古川ツデーマーチ
- ④ ふれあいゲートボール大会
- ⑤ KAKOGAWA 踊ってまつり ほか